安心立命

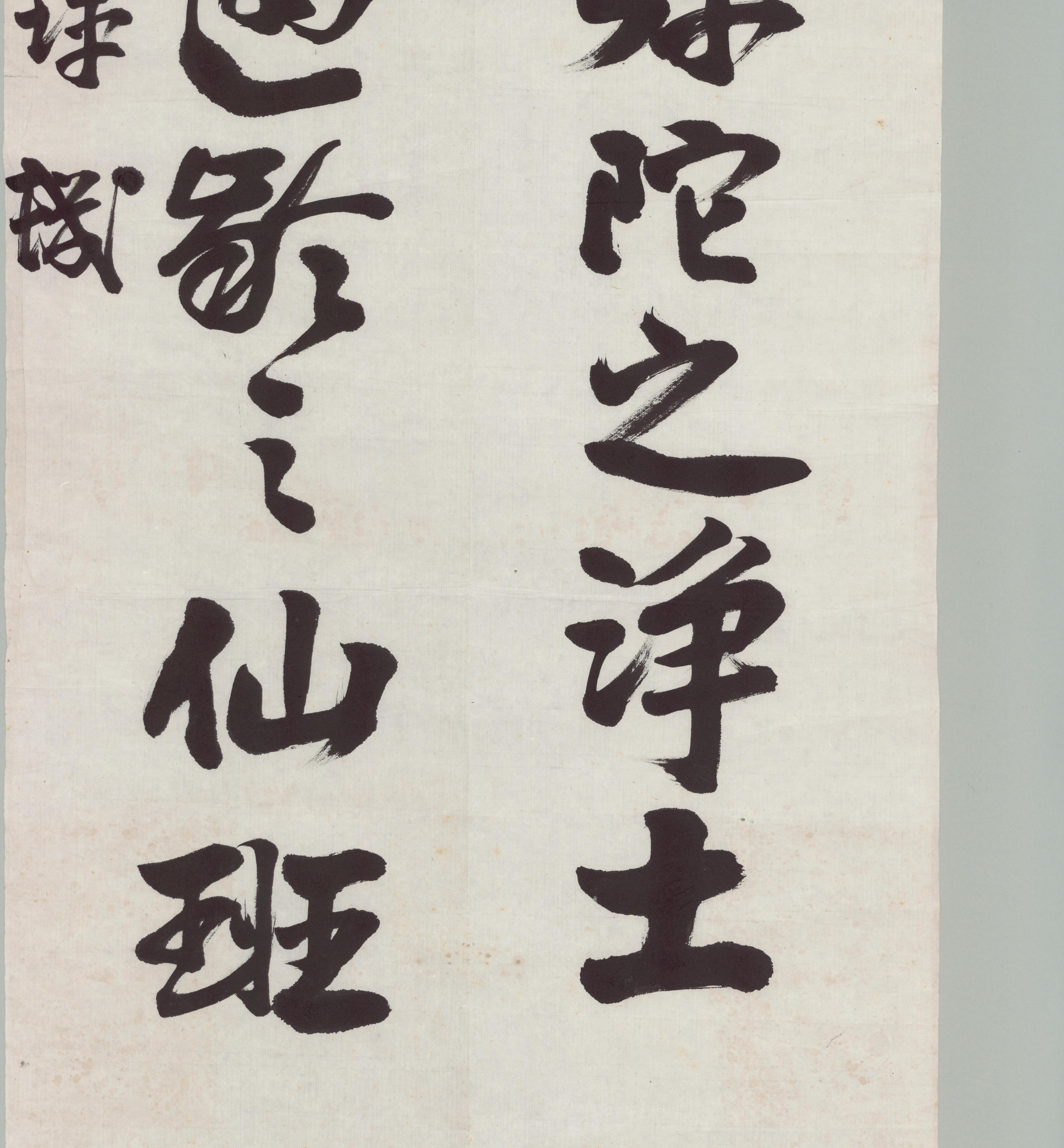
精勤學業有功

南無阿彌陀佛

国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

南藩師大
弘置
耳
于
春日中澣
祐筆
春人
於

素人の於殊
院之論語
之誤讀
十年專事
潮通
譯

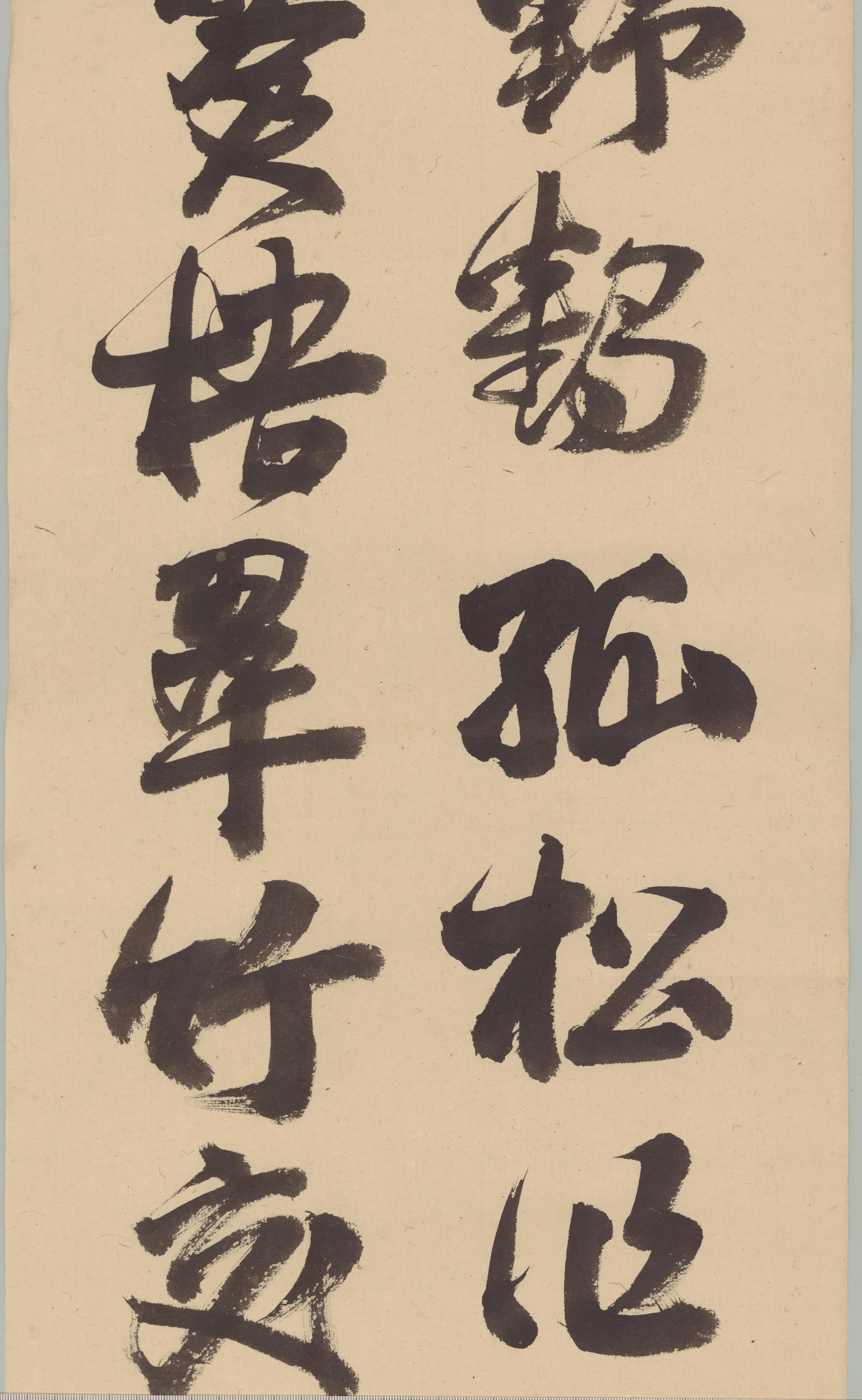


国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

福島明軍典勅

国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395



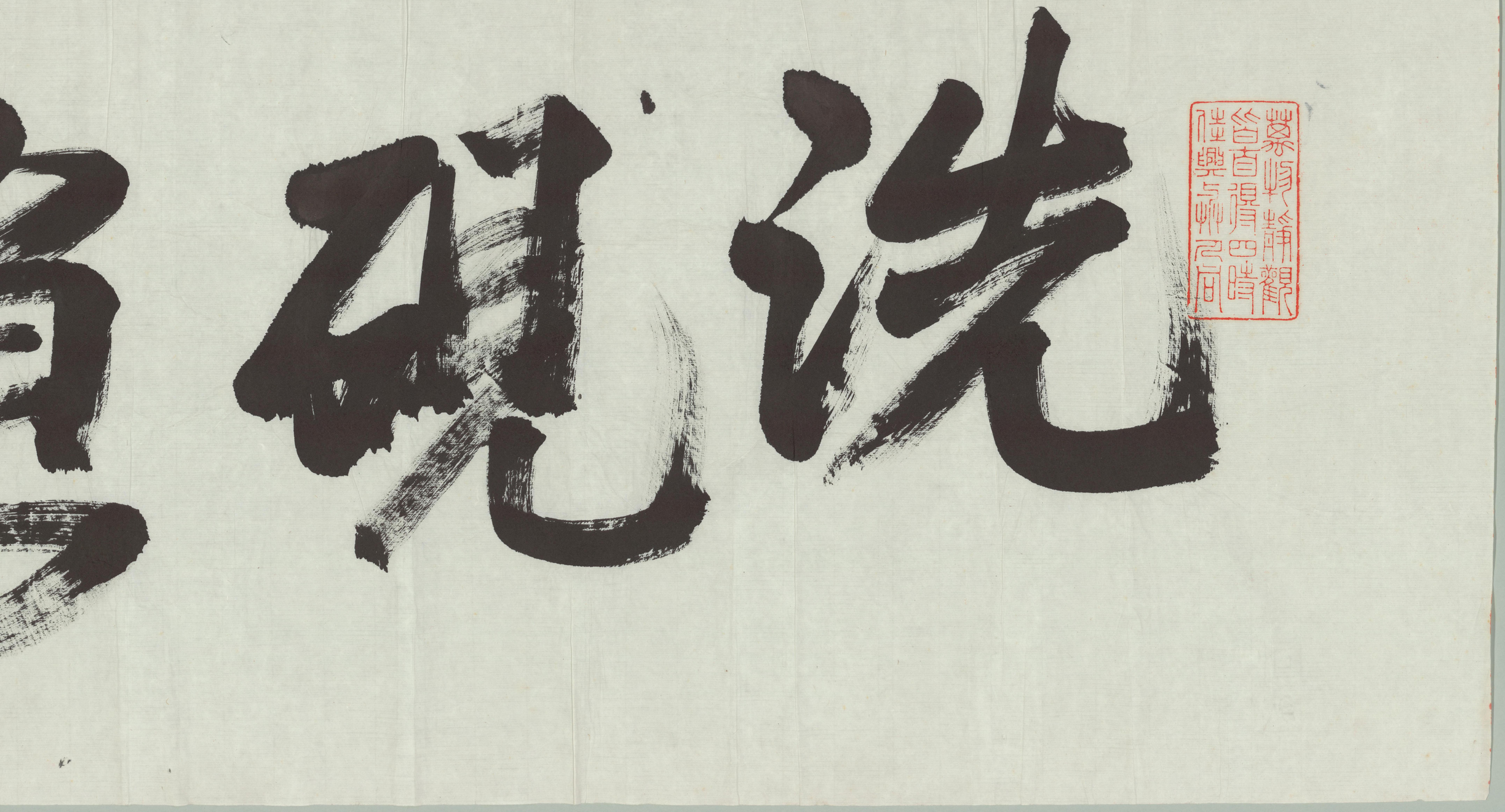
国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

松竹
梅侍

金井君之茶毒先人島洲翁所畫
月瀬梅花圖徵余言因憶曩訪翁於
吞山書樓、負山臨水竹樹環繞境幽
地僻殆非人間界也翁數賢髮稀疎肌
膚豐澤事字昂然襲人俄見之
如不可褻近而徐与之語溫厚和粹
能待人如坐春風和氣頓消席上
暗半日使人鄙吝之念為余作古木竹石圖見贈余亦賦
詩酬之僕堙既三十有餘秊矣其
言語容貌猶髣髴於耳目之間
今也翁逝既久矣幸余与君同
僚之交因叙甚所以有舊以應之
抑月瀬之勝余之所耳而未目平、生
以為憾今因此圖以得目焉勝亦
翁之賜也

明治廿二年七月潮坪宍戸璣

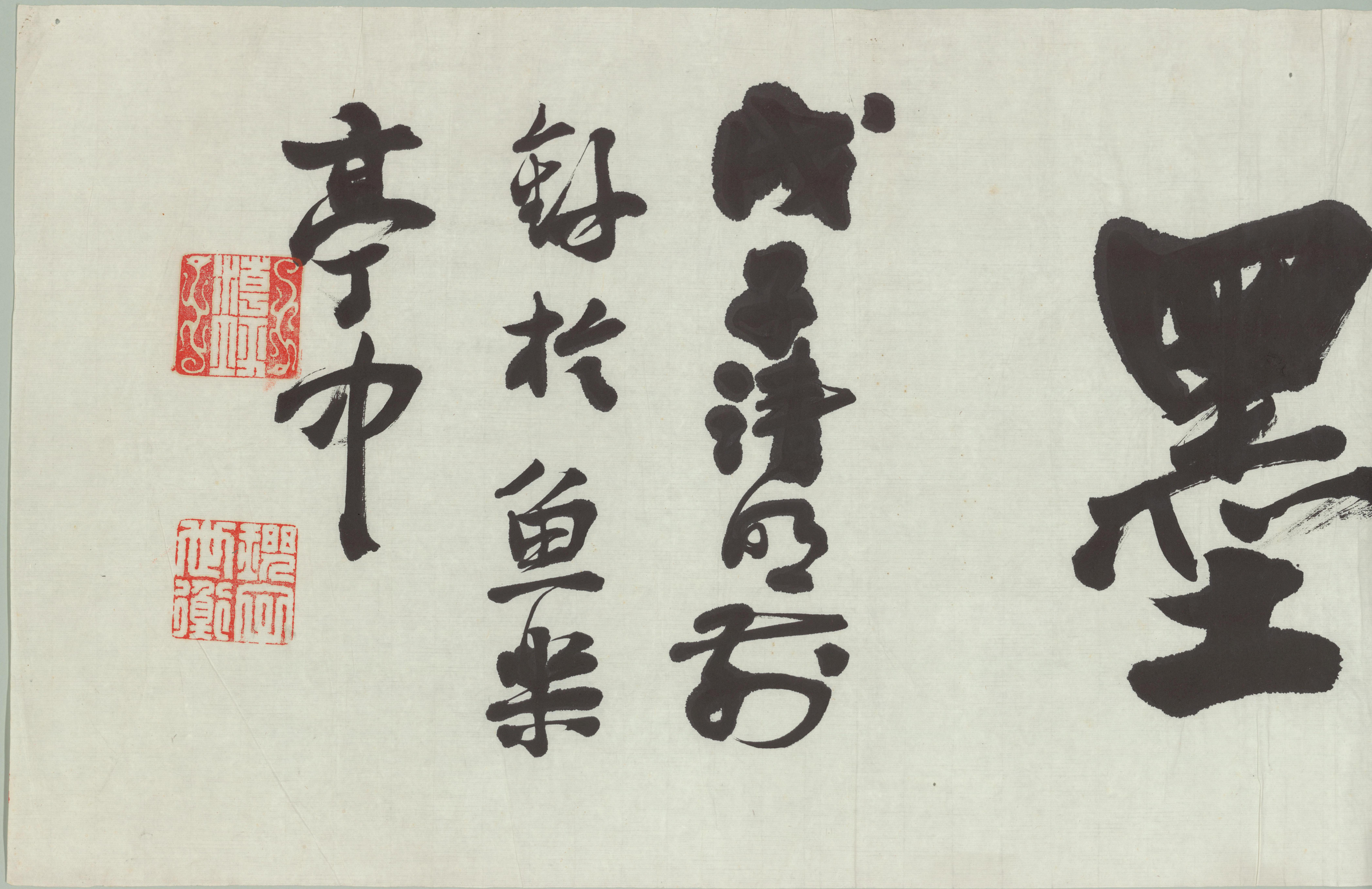
国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395



国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395



国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

敬哉

神愛國之旨

體玆事

天理人倫

匪哉明

国立国会図書館　宍戸璣関係文書（その2）395

天理人道我明
よき事之ハ子
皇上我君義
朝廷万民
二千五百三十五年

皇上我
朝卓我
一代
事
業
追
寫
之
事

二年五月
二十五日三
立
宍戸磯右

需錄